

## 病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	経皮的冠動脈形成術時の高耐圧バルーン破裂と冠動脈石灰化スコアとの関連
当院の研究責任者 (所属)	<b>當間 裕一郎</b> 琉球大学大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座
他の研究機関および 各施設の研究責任者	沖縄赤十字病院：砂川長彦 沖縄県南部医療センター・こども医療センター：當真隆 与那原中央病院：石川直樹
本研究の目的	琉球大学医学附属病院でPCIを実施した患者様を対象にしています。PCIの際に使用した高耐圧バルーンの破裂しやすさと冠動脈CTでの石灰化の程度との関連を調査します。その他、カルテから血液検査の結果などを調査します。
調査データ 該当期間	倫理委員会承認日～2024年3月31日の期間の情報
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"><li>●対象となる患者さま<ul style="list-style-type: none"><li>① 虚血性心疾患でPCIを受けた時に、高耐圧バルーンを使用が想定される患者</li><li>② 20歳以上の患者。</li></ul></li><li>●利用する情報<ul style="list-style-type: none"><li>①基本情報：生年月日、年齢、性別、身長、体重、血液検査など</li><li>②PCI時の情報：バルーン破裂の有無、合併症の有無、PCIの結果、病変の性状など</li><li>③破裂したバルーンの解析：破裂したバルーンは回収し、破裂形態などを調査します</li><li>④データ収集の時期と内容：PCI後にカルテから調査します。</li></ul></li></ul>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	試料/情報は琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座内で管理され、外部研究機関に持ち出すことはありません。ただし、外部での解析が必要になった場合は、その旨を倫理委員会に審査いただき承認を得た上で個人情報を匿名化し試料/情報を提供します。
個人情報の取り扱い	調査により得られた被験者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して個人識別コードを用いた匿名化とし、琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学医局で管理します。個人識別コードを用いた匿名化に用いる対応表は、医局内の施錠できる棚で管理します。多施設も当施設と同様に個人情報とは関係のない符号または番号を付して個人識別コードを

	<p>用いた匿名化とし、当該施設内で管理し、個人識別コードを用いた匿名化に用いる対応表は、当該施設の施設のできる適切な場所で管理します。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究は第3内科の委任経理金にて実施するため利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：098-895-1150 担当者：當間 裕一郎</p>
<p>備考</p>	<p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし解析・発表後は研究対象から除外することはできません。</p>